

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月26日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL http://www.jsr.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小柴 満信
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 小島 昌尚 TEL 03(6218)3517
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	305,789	6.1	30,379	19.4	33,051	13.2	23,002	15.7
26年3月期第3四半期	288,087	4.6	25,451	2.1	29,191	△4.3	19,878	△6.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 33,874百万円 (11.5%) 26年3月期第3四半期 30,382百万円 (25.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	98.14	97.90
26年3月期第3四半期	83.71	83.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	546,333	354,451	63.8	1,508.54
26年3月期	501,319	337,259	66.1	1,409.06

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 348,424百万円 26年3月期 331,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	4.0	40,000	10.9	43,000	8.5	30,000	19.2	128.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は添付資料P.4 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.4 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	237,973,205株	26年3月期	237,973,205株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	7,005,777株	26年3月期	2,862,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	234,369,025株	26年3月期3Q	237,460,031株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

平成27年1月26日（月）に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日）の概況

当社グループの主要な需要業界について概観します。

国内自動車生産は消費税率改定の影響もあり前年を下回って推移しているほか、国内自動車用タイヤ生産も前年並にとどまっております。他方、世界的には自動車生産、自動車用タイヤ生産ともに前年を上回って推移しています。

石油化学系事業につきましては、足元では改善傾向が見られるものの、ブタジエンおよびエラストマーの世界的な需給緩和によりスプレッドが悪化した状態が続きました。

多角化事業につきましては、半導体市場はスマートフォンや多機能携帯端末向け需要にPC買い替え需要も加わり好調に推移しました。フラットパネル・ディスプレイの生産は、大型テレビ向け需要の拡大とモバイル向けの好調継続により、前年の水準を上回って推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、石油化学系事業では、技術的に優位性を持つ製品の能力増強とグローバルな拡販を展開し、情報電子材料を中心とした多角化事業では、半導体最先端技術に対応した素材への注力、大型テレビ向け材料の東アジアにおける技術サービス体制強化等を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,057億89百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益303億79百万円（同19.4%増）、経常利益330億51百万円（同13.2%増）、四半期純利益230億2百万円（同15.7%増）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高						
エラストマー事業	147,169	51.1%	150,789	49.3%	3,619	2.5%
合成樹脂事業	40,837	14.2%	41,520	13.6%	683	1.7%
多角化事業	100,080	34.7%	113,479	37.1%	13,398	13.4%
合計	288,087	100.0%	305,789	100.0%	17,702	6.1%
国内売上高	143,561	49.8%	144,006	47.1%	444	0.3%
海外売上高	144,525	50.2%	161,783	52.9%	17,257	11.9%
区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	比率
営業利益	25,451	8.8%	30,379	9.9%	4,927	19.4%
経常利益	29,191	10.1%	33,051	10.8%	3,860	13.2%
四半期純利益	19,878	6.9%	23,002	7.5%	3,123	15.7%

(部門別の概況)

(エラストマー事業部門)

合成ゴムの販売量は、期前半の落ち込みから回復傾向にありますが、9か月累計は前年同期を下回りました。売上高は原料価格上昇に伴う価格改定や為替影響により前年同期を上回りました。

利益につきましては、足元では原料価格下落によりスプレッドが改善傾向にありますが、依然として需給緩和が継続していることに加えて定期修繕費用の増加もあり、9か月累計は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上高は前年同期比2.5%増の1,507億89百万円、営業利益は前年同期比22.3%減の89億10百万円となりました。

(合成樹脂事業部門)

合成樹脂の販売量は、期前半の落ち込みから回復傾向にありますが、9ヶ月累計は自動車用途中心に前年を下回りました。売上高は原料価格上昇に伴う価格改定や為替影響により前年同期を上回りました。

利益につきましては、足元では販売量回復で持ち直しておりますが、9か月累計は販売量の減少を主因として前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上高は前年同期比1.7%増の415億20百万円、営業利益は前年同期比30.3%減の19億10百万円となりました。

(多角化事業部門)

半導体材料の販売につきましては、スマートフォン・多機能携帯端末向け需要やPC買い替え需要が堅調に推移したことに加えて、当社シェアが高い最先端の20nm（ナノメートル）世代の量産が大手顧客で本格化したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

ディスプレイ材料の販売につきましては、大型テレビ向け需要やモバイル向け需要が堅調であり、売上高は前年同期を上回りました。

多角化事業部門全体の利益は、半導体材料やディスプレイ材料の販売が堅調であったことにより、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の多角化事業部門の売上高は前年同期比13.4%増の1,134億79百万円、営業利益は前年同期比74.1%増の195億58百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、平成26年4月23日に公表した平成27年3月期の連結業績予想を変更し、売上高4,100億円（前年比4.0%増）、営業利益400億円（同10.9%増）、経常利益430億円（同8.5%増）、当期純利益300億円（同19.2%増）といたしました。

連結業績予想の変更は、多角化事業における半導体材料およびディスプレイ材料の販売好調、ならびに円安による利益押し上げを主因とするものです。

(通期業績予想)

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	4,100億円	4,100億円	—	—
営業利益	400億円	380億円	20億円	5.3%
経常利益	430億円	390億円	40億円	10.3%
当期純利益	300億円	280億円	20億円	7.1%

詳細につきましては、本日（平成27年1月26日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法について給付算定式基準を適用し、割引率の算定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,498百万円減少し、利益剰余金が964百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,390	53,350
受取手形及び売掛金(純額)	87,613	99,066
有価証券	81,004	71,997
たな卸資産	78,689	83,466
その他	45,804	42,110
流動資産合計	326,504	349,992
固定資産		
有形固定資産	95,630	108,268
無形固定資産	7,250	7,949
投資その他の資産		
投資有価証券	60,952	69,272
その他	10,982	10,849
投資その他の資産合計	71,935	80,122
固定資産合計	174,815	196,340
資産合計	501,319	546,333
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,333	99,352
短期借入金	15,578	16,420
その他	31,529	38,182
流動負債合計	132,442	153,956
固定負債		
長期借入金	11,069	16,190
退職給付に係る負債	15,242	14,078
その他	5,305	7,656
固定負債合計	31,617	37,925
負債合計	164,059	191,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	25,179
利益剰余金	269,620	284,239
自己株式	△5,087	△13,580
株主資本合計	313,033	319,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,467	15,912
為替換算調整勘定	6,971	13,400
退職給付に係る調整累計額	△188	△47
その他の包括利益累計額合計	18,250	29,265
新株予約権	792	850
少数株主持分	5,183	5,177
純資産合計	337,259	354,451
負債純資産合計	501,319	546,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	288,087	305,789
売上原価	215,761	226,445
売上総利益	72,325	79,344
販売費及び一般管理費	46,873	48,964
営業利益	25,451	30,379
営業外収益		
為替差益	1,884	2,631
その他	3,029	1,493
営業外収益合計	4,914	4,124
営業外費用		
持分法による投資損失	-	357
その他	1,174	1,095
営業外費用合計	1,174	1,452
経常利益	29,191	33,051
特別利益		
事業分離における移転利益	-	325
特別利益合計	-	325
特別損失		
投資有価証券評価損	-	509
たな卸資産廃棄損	241	-
その他	23	-
特別損失合計	265	509
税金等調整前四半期純利益	28,925	32,867
法人税等	9,872	10,576
少数株主損益調整前四半期純利益	19,052	22,291
少数株主損失(△)	△825	△710
四半期純利益	19,878	23,002

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,052	22,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,519	4,451
為替換算調整勘定	5,204	6,387
退職給付に係る調整額	-	141
持分法適用会社に対する持分相当額	1,605	602
その他の包括利益合計	11,329	11,583
四半期包括利益	30,382	33,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,138	33,943
少数株主に係る四半期包括利益	△755	△69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年10月27日開催の取締役会決議に基づき、当四半期末日までに自己株式4,004,500株の取得を行いました。この結果、当決議に基づく取得による自己株式が8,228百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が13,580百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	147,169	40,837	100,080	288,087	—	288,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,427	—	—	3,427	△3,427	—
計	150,597	40,837	100,080	291,515	△3,427	288,087
セグメント利益(営業利益)	11,473	2,741	11,236	25,451	—	25,451

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	150,789	41,520	113,479	305,789	—	305,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,225	—	—	3,225	△3,225	—
計	154,014	41,520	113,479	309,014	△3,225	305,789
セグメント利益(営業利益)	8,910	1,910	19,558	30,379	—	30,379

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。